



出願状況発表！

あとは自分の気持ちの問題！

公立高校の出願受け付けが1月23日（木）に締め切れ、北海道教育委員会による出願状況の発表が1月27日（月）にありました。夕刊や北海道教育委員会のHPなどに詳しい数字が載っていましたので、公立高校に出願した人のほとんどが、出願先公立高校の出願状況を知っていることと思います。

さて、進路係としては、倍率を見ても心を動かされずに、当初出願校への合格に向けて頑張してほしいと思っているのですが、そうはいかない人もいるでしょう。ただ、極度の不安感に襲われて、不必要な出願変更をする人が出てくるのではないかとという心配もあります。そこで、次の内容についてもよく考えたうえで、自分の気持ちを固めてください。

倍率について

◇1月27日（月） 出願状況発表…次のようなことも考えておきましょう

例）札幌西高校：募集人員320名、出願者数474名、倍率1.48倍 の場合

① $320 \times 0.05 = 16$ 名…石狩学区以外からの合格者数の上限（俗に言う5%枠）

② 5%枠での実際の出願者は25名

③ ということは5%枠から9名の不合格が決定しているということになる

※実質倍率は1.45倍になります。

※石狩学区の高校では、札幌東高校で4名（5%枠16名のところ20名出願）が、札幌南高校で8名（5%枠16名のところ24名出願）が、札幌北高校で7名（5%枠16名のところ23名出願）が、千歳高校で1名（5%枠10名のところ11名出願）が%枠での不合格者ということになります。

※推薦出願者数が推薦枠を大きく超えている高校（白石高校や国際情報高校普通科、旭丘高校普通科など）は、推薦での不合格者が他の高校へ再出願することも考えられるので、最終的な倍率が下がる可能性があります。

※%枠の出願者数が枠の合格者数の上限を超えていない高校、推薦出願者数が推薦枠の人数に収まっている高校、大通高校以外の定時制高校などは、北海道教育委員会の発表通りの倍率だと考えてください。

◇1月30日（木）16：30 出願変更状況中間発表

各高校で、出願変更の中間状況が揭示され、深夜に北海道教育委員会のHPに全道分の集計結果が発表されます。また例年、翌日の北海道新聞の朝刊にも、その数字が掲載されています。これを参考にしたいという人もいるようですが、遠方の高校に出願変更を希望する場合などは、手続きが間に合わないおそれがあります。十分に注意してください。

◆出願変更状況の発表は2月12日（水）10：00、推薦不合格者の再出願状況を含む最終倍率の発表は2月28日（金）11：00になります。

合否は倍率では決まらない

倍率の低い高校の方が合格しやすいと思われるがちですが、実際にはそうでもありません（倍率が1倍を切っている高校は合格しやすくなります）。倍率1.1倍（定員320名、出願者352名）くらいの高校であっても、合否のボーダーライン上に40～50名が固まっているということもあり得ます。

また、倍率（出願した生徒の数）よりも、どの程度の学力の生徒が受検しに来るのか、ということの方が合否に大きくかわるのですが、教育委員会発表の数字ではそれをうかがい知ることはできません。

結局、今までの地道な努力で十分な実力をつけてきた人にとっては、倍率がどうであろうと合格の可能性は高いということです。自分の今までの学習の仕方に自信のある人は、倍率に左右される必要はありません。

自分は自分

友達が出願変更をすると、自分も不安になってしまう人がいるようです。でも、友達の顔と自分の顔とが違うように、いざというときに発揮する力や今までの長い期間の学習の仕方など、全員が違うはずです。

ですから、表面的には似たような学力でも、出願変更してうまく行く場合とそうではない場合があります。友達の動きに左右されず、自分にとってどうすることがベストなのかを、慎重かつ冷静に考えることが大切です。

でも……

たとえば、次のような場合は出願変更を考えた方がよいかもしれません。

- ・学年末で、学習点が大きく下がる可能性が高くなってしまった。
- ・体調をくずしたりなどの理由で、冬休みから今まで勉強に身が入らず、自信がなくなってしまった。

ただ、出願変更すると、手続きが完了してから出願変更状況が発表されるまでの期間、精神的に落ち着かなくて勉強への集中が難しくなる人が多いようです。そのようなマイナス面も考慮して、なお出願変更した方がよいという結論に達した場合は、できるだけ早く担任の先生に連絡してください（校内締め切りは1月31日（金）の朝です）。ただし、書類の提出後、取り消しは一切できません。やはり、よく考えて決断してほしいと思います。